

<報道提供>

令和3年7月14日
静岡県危機報道官
電話 054-221-2316

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第21報)

(7月14日 16時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点(海岸から約2km上流)から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 県災害対策本部の活動状況

- 3日12:00 県災害対策本部を設置
自衛隊に派遣要請
13:30 消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
15:30 災害救助法の適用を公示
9日 被災者生活再建支援法の適用を公示

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

(※)「行方不明者」「死者」の区分名は、「消防庁災害報告取扱要領」による区分)

行方不明者：16名

死者：11名

中等症：3名

その他：25名

避難者：523名

・ニューフジヤホテル(伊東園) 523名

(2) 物的被害

被害棟数：131棟(128世帯、216名)

4 ライフライン等の状況

ガス：家屋の流出等により居住が困難な地域(147戸)を除き供

給可能 (432戸)

水道：熱海市伊豆山の一部で断水 (75件)
 (7月11日にすべての簡易水槽は撤去、給水パックでの供給
 に切り替え)

電気、通信：被災家屋以外は復旧済

道路

路 線	区 間	規 制 状 況
国道135号	熱海市中央町 (中央町交差点) ~ 神奈川県境(門川交差点)	全面通行止 (土砂流出)
熱海ビーチライン	全線	・7/14 12:00からは、 国道135号の通行規制 が解除されるまでの 間、一般車両も対象に 無料開放
<u>伊豆スカイライ ン</u>	<u>全線</u>	<u>・7/14 6:00から、国 道135号の通行規制が 解除されるまでの間、 一般車両も対象に無料 開放</u>

路線バス

路 線	区 間	規 制 状 況
東海バス 熱海駅～伊豆 山・湯河原駅線	伊豆山～湯河原駅 熱海駅～伊豆山	<u>・伊豆山～湯河原駅は 運行再開(7/15から)</u> <u>・熱海駅～伊豆山は当 面の間運休</u>
東海バス 七尾原循環	<u>熱海ビーチライン経由</u>	<u>・運行再開(7/14午後 から)</u> <u>・老人ホーム前から春 日町の間は両バス停 を除き乗車・降車不 可</u>
東海バス 紅葉ヶ丘～郵便 局・熱海駅～伊 豆山循環	熱海駅～逢初橋・小学 校入口・伊豆山神社前 ～熱海駅	運休
東海バス 熱海駅～伊豆山	熱海駅～伊豆山神社 前・小学校入口・逢初	運休

路線	区間	規制状況
循環～紅葉ヶ丘・ひばりヶ丘線	橋～熱海駅	
伊豆箱根バス 熱海箱根線	全区間	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ルートを変更して順次運行再開(7/15から) ・7/16からは、一部区間を迂回して始発から運行

5 主な生活再建支援

○被災者の住宅確保

公営住宅等 **77戸**

民間住宅 **43戸** **計120戸**

7月15日に住宅相談窓口を熱海市役所に開設

6 関係機関の派遣状況

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上自衛隊	油圧バケット 1台 グラップル 1 台 <u>バケット1台</u> 小型ブルドー ザー7台 <u>資材運搬車2</u> <u>台</u>	新幹線北側上流部の道路 <u>及び住居位置</u> にて活動
	1隊72名	新幹線北側上流部の住居位置にて集中的に活動
	1隊153名	新幹線北側下流部の住居位置にて集中的に活動
	1隊29名 グラップル1台	逢初橋一帯で重機を活用しつつ活動中(警察共同)
	その他 122 名	浄水管理センターにて部隊の活動を統制及び支援

	航空部隊 ドローン3	ドローン7:00～17:00 現场上空を映像伝送
小計	<u>376</u> 人	
航空自衛隊	<u>18名</u> ドローン4 救助犬2匹	ホテルリゾートピア熱海第2駐車場の北東から南東でドローンを活用しつつ活動
合計	<u>394</u> 人	

○消防

消防機関の活動概況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	熱海市消防本部	85名	被災現場等で活動中
	熱海市消防団	180名	
	静岡市消防局 指揮支援隊	1隊6名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊 (第3陣)	約50隊 (約170名)	新幹線法面下流で活動 救助犬合同捜索
	小計	約441名	
県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊	1隊4名	静岡県庁で活動中
	愛知県大隊 長野県大隊 山梨県大隊	約70隊 (約 <u>310</u> 名) <u>長野県大隊・山梨 県大隊7/14午後第 2次隊交代予定</u>	新幹線法面上流で活動
	小計	約 <u>314</u> 名	
	合計	約 <u>755</u> 名	

・活動予定

捜索活動 ～18:00

各隊活動状況報告 17:30

関係機関調整会議 18:00

作戦会議 19:00

○海上保安庁

13日 下田海保の巡視船など1隻が1日1回のパトロールにあわせて捜索

○警察

区分	人数	備考
県警	約 <u>110</u> 名	県機動隊、管区機動隊、交通部隊等

区分	人数	備考
警察災害派遣隊	約210名	警視庁、宮城県、栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、富山県、石川県、岐阜県、滋賀県 航空隊（神奈川県） <u>情報通信部（東北管区警察局、愛知県、和歌山県）</u>
計	約 320名	

○その他の関係機関の活動状況

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動 <u>（遠隔対応に移行）</u> 被災者支援等に関する各種調整
総務省東海総合通信局	<ul style="list-style-type: none"> 7/7～熱海市へリエゾン1名派遣対応中（放送・通信確保の状況を把握するため） 7/9～熱海市へ新たに通信事業者リエゾン派遣
国土交通省中部地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> 照明車2台 源頭部にて夜間稼働、日中待機 待機支援車1台 かんぼの宿（熱海別館）待機中 TEC（総括班①-2） 7/14 各班との調整 ドローン班 7/14 <u>調査結果取りまとめ</u> TEC（砂防班①-2） 7/14 <u>現地調査、調査結果取りまとめ</u> TEC（砂防班②-2） 7/14 <u>現地調査、源頭部及びメガソーラー付近の調査（ドローン）</u>
静岡地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> <u>搜索活動前に気象解説を実施</u> <u>アメダス臨時観測点「熱海伊豆山」運用</u>
日本赤十字社	7/10～15 こころのケア班3名を熱海ニューフジヤホテルに派遣、DPATと連携し避難者からの相談に対応、避難者のストレス軽減を図る。
D M A T	<ul style="list-style-type: none"> DMAT調整本部（県庁内）、熱海地域DMAT活動拠点本部（熱海保健所内）、DMAT現場指揮所（ホテルリゾーピア熱海第2駐車場）に5チームが参集し活動
林野庁	静岡県林務担当部局への技術支援
静岡県建設業協会	<p><災害応急対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 国道135号復旧作業（堆積土砂除去） 熱海ビーチライン復旧作業（土嚢積）
<u>環境省</u>	<u>関東地方環境事務所から1名（7/6～）、近畿地方</u>

	<u>環境事務所から2名（7/11～）、熱海市へ派遣対応中（災害廃棄物処理に関する助言）</u>
<u>静岡県産業廃棄物協会</u>	<u>県との協定（地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定）に基づき、災害廃棄物の仮置場の運営、運搬・処分等の業務を実施</u>

7 参考（義援金）

機関名	概要
日本赤十字社静岡県支部及び静岡県	(期間) 7月9日～10月31日 (方法) 静岡銀行への振込
社会福祉法人静岡県共同募金会	(期間) 7月8日～10月29日 (方法) ゆうちょ銀行への振込
熱海市	(期間) 7月5日～ (方法) 三島信用金庫への振込、災害支援ふるさと納税、熱海市役所義援金箱